

海上保安庁機動救難士と和歌山市消防潜水隊合同潜水訓練の実施について

和歌山市消防局

和歌山市消防局は、令和5年6月22日（木）に海上保安庁と合同潜水訓練を実施しました。

海難救助のスペシャリストである海上保安庁機動救難士から、訓練を通じて基礎泳力強化をはじめ、実現場に即した活動要領、知識・技術の習得について学ぶことを目的としました。

「人命救助」という共通のゴールに向かって、今後も海上保安庁機動救難士との訓練を実施し、更なる連携強化を図り、要救助者にとって有益な活動に繋がれるように努めていきたいと思っております。



消防団が小学生とともに水難訓練を実施

尼崎市消防局

尼崎市消防局及び尼崎市消防団は、令和5年7月30日（日）、市内小学校プールにおいて、小学生を対象に水難訓練を実施しました。

この訓練は、全国各地で集中豪雨などの水害や子どもの水難事故が発生していることから、消防団の災害活動能力の向上と、子どもたちの水難事故防止につなげることを目的として実施したものです。

当消防局の職員が水難事故現場で行われている救助方法や着衣泳などを説明後、身の回りの物を使用した体験型訓練を行いました。

今後も、関係機関と連携し地域防災力向上に努めてまいります。



消防通信

望楼

ぼうろう

松山圏域での火災予防業務研修を実施

松山市消防局

松山市消防局、伊予消防等事務組合消防本部、東温市消防本部及び久万高原町消防本部では、令和5年6月7日（水）、松山市内の屋外タンク貯蔵所への立入検査にあわせ、合同で火災予防業務研修を実施しました。

本研修は、減少傾向にある検査等の現場経験を各本部の担当者が共有することで、効果的な人材育成と連携強化を目的として締結した『松山圏域での火災予防業務研修に関する協定』に基づくものです。

今後も積極的に研修を実施し、消防職員の火災予防技術向上に繋がってまいります。



新潟県消防救助技術大会での技術訓練披露

新潟市消防局

新潟市消防局西蒲消防署救助隊は、令和5年7月5日に開催された第39回新潟県消防救助技術大会で技術訓練を披露しました。

当局では指定された3隊のみ、三つ打ちナイロンロープとカーンマントル構造ロープを事案により使い分けて現場活用しています。

今回の技術訓練は、低所における酸欠環境の中、限られた人員及び保有資機材を最大限に活用し、要救助者の容態観察を継続しながらの救出に主眼を置きました。

今後も活動能力の向上を図るため、訓練を継続し部隊強化に努めてまいります。



消防通信/望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】